

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2014年度 Vol.1



環境学習講座のご案内

子ども向け、大人向け講座 開催予定!

～お水の教室～

公園でろ過実験をしてみよう!

水のろ過実験やカルタのゲームを通して、世界の水問題と身近な暮らしの水について学びます。

(対象：小学生と保護者)

開催日/7月27日(日)

募集/7月1日から

講師/野田岳仁氏

(NPO法人Waterscape代表

・青山学院大学非常勤講師) 講座資料「お水の教室」より



バナーのDNA抽出実験で「生もの種」に学ぶ

野生生物の絶滅についてクイズで学び、全員がDNA抽出実験を行います。

(対象：小学生と保護者)

開催日/8月10日(日)

募集/7月11日から

講師/深澤秀治氏

(一般社団法人環境教育振興協会理事)



ガス管を使ったリサイクル万華鏡作り

都市ガスがお家に届くまで、ガス管のリサイクルのことを聞いたり、ガス管を使った万華鏡づくりをします。

(対象：小学生*3年生以下は保護者同伴)

開催日/8月20日(水)

募集/7月21日から

講師/齋藤昭義氏

(東京ガス(株)中央支店 地域広報グループ 課長)



さき布から「ぞうり」を作ろう

受講者に持ってきていただく古布を使って、オリジナルのぞうりを2日に渡って制作します。

(対象：2日とも出席できる中学生以上)

開催日/9月21日(日)と23日(火)

募集/8月21日から

講師/宮嶋清司氏(ぞうり研究家)

作業風景→



LED照明を効果的に使うノウハウ

LED電球やLED住宅照明用の器具などの使い方、楽しみ方を学びます。

(対象：中学生以上)

開催日/9月28日(日)

募集/8月21日から

講師/小宮 章利氏(ジャパンソウル半導体(株)顧問)



夏休みの★自由研究にチャレンジ★

自由研究の参考になる資料を用意します。気象関係については気象予報士が疑問に答えます。実験もできます。

(対象：小学生と保護者)

開催日/8月12日(火)

募集/7月11日から

講師/大島正幸氏(気象予報士)



講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページに掲載します。

絆ひろげるボランティアシップ eco しながわエコ2014 フェスティバル

5月25日（日）晴天の下、‘しながわECOフェスティバル2014’が開催されました。当日の東京の最高気温は27.3℃でしたので、会場のしながわ中央公園は、場所によっては30℃近くになっていたかも知れません。その中で、昨年以上の26,436人の来場者がありました。

(1)ごみ・資源回収

ごみは持ち帰りが原則です。ごみの量は年々減少しているそうですが、今後も更に減らしたいですね。これには参加者皆さんの協力が第一です。また、今回は回収型容器「リ・リパック」（食のブースで使用）が使われていました。これは容器（トレイ）の内側にフィルムが貼ってあり、使用後はそれをはがして、フィルムは燃えるごみに、トレイは別途回収して資源としてリサイクルするというすぐれものです。



(2) エコカーとカーシェアリング

水しか排出しない「燃料電池車」ですが、実用化はこれからです。普及し始めている「電気自動車」、今後が期待されるエコカーの試乗会がありました。試乗した人は「非常に静かで、快適な乗り心地でした」と話してくれました。



燃料電池車



電気自動車

EV（電気自動車）カーシェアリングの紹介もありました。カーシェアリングは、自動車の利用頻度を抑えることにより、エネルギーの節約や 排出ガスの削減につながり、エコに貢献します。また、経済的でもあり、カーシェアリングのステーションが増えています。

(3) 小学生が保護者と参加したワークショップ

非木材パルプを使ったハガキ作り、間伐材に色を塗ったり組み立てたり、アクリルたわし編み、顕微鏡による自然観察、望遠鏡の組み立てやLEDライトで光の三原色の不思議体験などを楽しみました。



その他にもさまざまな企画があり、参加者は楽しい1日を過ごすことができたと思います。

講座「春の寄せ植え」のサギソウ、その後

3月11日（火）に開催した「春の寄せ植え」講座で作ったサギソウの最近（6月3日）の様子です。



教えていただいた山野草栽培のポイントに従い、水やりや日当たり注意到ころ、4月になって芽を出し、6月にはずいぶん伸びました。葉をまっすぐにして測ると約30cmで、15cmの青いボールペンと比較すると大きさがわかりますね。



青いボールペンとの比較



講師の作品
(昨年8月)

7月～8月の開花が本当に楽しみです。

サギソウは日当たりの良い場所を好みますが、暑い夏には遮光ネットで温度を下げるなど、熱がこもらないようにすることが大切です。

環境記者活躍中

環境記者のKさんから送っていただいた、マンションのごみ問題についてのレポートです。

品川区では、ごみを減らす「3本の矢」①リデュース(ごみそのものを減らす) ②リユース(くり返して使う) ③リサイクル(再生利用)の「3R」を推進している。

我が家のマンションでのごみ処理の現状について報告したい。私のところは、東品川にある約130世帯のマンションである。管理人さんから話を伺った。

分類の仕方がわからずに、置いたまま(放置)になっているものがしばしばあるという。分別方法をわかりやすくし、分類の箱の色分けなどで工夫をしているが、やはり管理人さんの整理整頓の手がかかっているのが現状のようだ。



チラシやA4サイズの紙類などは資源ごみになるが、ついつい燃やすごみとしてしまうことが多い。家庭内で工夫すればもっと簡単に資源ごみができるはずである。また「プラ」と書いてあっても小さいサイズであると、これもまた燃やすごみに入れてしまうことが多い。しかし、これも家庭内で分類すればすぐに資源がたまる。さらに、プラスチック容器も汚れの判断が難しく、燃やすものに入れてしまいがちだが、少量の水を流すことできれいになり、資源になり得る。

話を聞くと燃やすごみは減り、資源が増えることがよくわかった。管理人さんは、「ごみを減らすには、まず一人ひとりの意識からです。マンション内のごみ削減に努力していきましょう。協力していきます」とおっしゃっていた。

一人の行動にとどまらず、これらの取組みはマンションサロンの集まりの時に説明し、さらに共有し意識を広めていきたいと思っている。



山を登るオオバコ

オオバコの花茎をからませて、引っ張り合って遊んだことはありますか。花といっても花卉は目立たず、穂のまわりに、白い糸のようなものがちらちら出ています。これは雄しべです。



オオバコ

オオバコは穂の下の方から花を咲かせていきます。

実った種子は地上に落ち、水分に出会うと、ゼリーのように粘ります。これが車や靴底にくっついて運ばれ、行き着く先々で芽を出します。

別名は車前草、舗装のない時代には、人が行きかう場所に生え、踏みつけに強い植物として有名です。近年は登山道でも見かけることが多くなり、山の植生を乱すと話題になっています。ある山系では2000mの高さからの報告があります。垂直分布を広げている一方、平地で見かけることは少なくなりました。



ツボミオオバコ

平地のオオバコと入れ替わったのは「ツボミオオバコ」という乾燥に強い外来種です。雄しべが外側に出ず見えないため「つぼみ」とみなされる

のが名前の由来で、北米原産です。

道端や河川敷などの空き地に目立ってきた、園芸店にも並ぶハーブ「ヘラオオバコ」は、販売されるだけあって、「大きい葉」を表す名を持つオオバコ(大葉子)よりも、大型で、花は派手で、観賞に適しています。この葉は細く、長く、ヘラのような形をしているところから、その名が付けました。



ヘラオオバコ

ヨーロッパ原産です。オオバコの外来種には、ほかにもセリのような葉、糸のような葉を持つものがあります。

ガラパゴスには固有種「ガラパゴスオオバコ」があります。果実の中の種子の数は、固有種は2個、外来種で18個といわれます。この地でも外来種に押され気味のようです。



ガラパゴスオオバコ

植物は適地に生えるものですが、日本にある普通の植物が、いつの間にか外来種にとって代わられているかもしれません。日頃から身の回りの自然、地域の自然に関心を払いたいものです。

(環境カウンセラー 倉田智子氏)

こんな講座を開催しました

“今年こそ緑のカーテンを作しましょう” 4月27日
講師 しがわ区民公園管理事務所長 丸山 均 氏

前半は種まきから苗の植え付けまで、講師の昨年の観察記録、育成環境、適温、用土、肥料等の詳しい解説があり、後半は実習でした。

参加者には種の植え付け鉢としてプラスチック製のトレイと紙製のエコ鉢が配られました。紙製のエコ鉢は鉢のまま移植でき、環境にやさしいすぐれものです。



種はゴーヤ、千なりひょうたん、大ひょうたんとアサガオの四種類が配られました。ゴーヤの種はとても硬いので発芽しやすくするため、種の尖った方を爪切りなどでカットします。種は切った方を上にして入れ、土をかぶせます。

紙のプレートに日付を入れて差し込み、たっぷり水やりをしました。本日の実習はここまでです。

家に持ち帰り本葉が2~4枚揃ったら本植えです。プランターに鉢底石、赤玉土、培養土の順に入れ、苗を植え付け、水をたっぷり与えます。40日ほどでツルが伸び出し、添え木が必要になります。マンションのベランダ等に設置する場合、非常用壁板のまわりやハッチの上には置かないようにしてください。



講座出席者からのお便り

暑い日が続いたこともあり、3週間ほどで発芽し5月30日には下記のように育ちました。ゴーヤは発芽しやすいようにカットしたのですが、カット失敗でしょうか。ひょうたんは発芽し易いのか、よく発芽しました。プランターへの植替えが必要ですが、ベランダが狭いこともあり大きなプランターを準備できず、小さいもので我慢することにしました。

種類	種の個数	発芽
アサガオ	6	2
ゴーヤ	6	1
千なりひょうたん	6	4
大ひょうたん	1	1

アサガオ2苗、ゴーヤ1苗、千なりひょうたん2苗、大ひょうたん1苗を栽培することにしました。アサガオの色はどんなかしら？などと成長を見守っています。



←アサガオ

ゴーヤ→



千なりひょうたん



大ひょうたん

“いろいろな色が見えてくる！？
エコで不思議なコマ作り” 5月18日
講師 アズビル株式会社 門倉 誠 氏

結納台を作るときに出る端材を利用してコマを作りました。

コマに黒一色だけで模様を描いた紙をのせて回してみると、黒以外の色が現れるように感じます。各々模



様を描いてコマを作り、他の色が見えるか試してみました。かすかに他の色が浮かんで見えて歓声が上がりました。

端材を捨てないで有効利用してコマ作りをし、こんなに楽しい時間を過ごすことができました。また、端材にキリで穴を開けるという作業を通して、木の硬さ、手触りを体感しました。環境や自然素材を大切にする気持ちにほんの少しでも繋がってくれたらと思います。



ほかにもこんな講座を開催しています！

- 5月27日「春の寄せ植え」（園芸講座）
- 6月8日 「小笠原諸島の自然」
- 6月15日「間伐材を使って楽しい工作をしよう」
- 6月29日(予定)「LED照明で快適生活」
- 7月6日(予定)「新エネルギーと風力発電機作り」
- 7月13日(予定)「コラージュで飾る保温・保冷マグカップ作り」

しがわECOだより 2014年度Vol.1

発行：品川区都市環境事業部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしがわ

発行日：平成26年6月23日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2014年度 Vol.2



環境学習講座のご案内

10~12月の
子供&大人向け
講座計画です

都会の身近な鳥たちの暮らし

増える鳥
減る鳥

カラスが増え過ぎ、スズメは減っている…？
本当のところはどうなのか？都市に生息する野鳥
の生態とその最新事情を紹介します。

(対象：一般)

- 開催日/10月26日(日)
- 募集/9月21日から
- 講師/柴田佳秀氏(科学ジャーナリスト)



再生可能エネルギーの現状と今後の見通し

温室効果ガス削減のために、再生可能エネルギーの
果たす役割と導入促進に向けての取り組み、現状を
紹介します。(対象：一般)

- 開催日/10月31日(金)
- 募集/10月1日から
- 講師/奥村実氏(再生可能エネルギー推進協会理事)



頭のいい江戸のエコ生活

江戸は世界に誇る究極のエコ社会で、捨てるという
発想はなく、賢く使い切ることで日々の生活に満足
していました。(対象：一般)

- 開催日/11月9日(日)
- 募集/10月11日から
- 講師/菅野俊輔氏(江戸文化研究者)



空箱でつくるジオラマカレンダー

段ボールなどの空箱と、家の中にある不用品、毛糸、
おもちゃ、雑誌・新聞、布きれ等を使って
カレンダーを作ります。

(対象：小学生と保護者)

- 開催日/11月2日(日)
- 募集/10月1日から
- 講師/竹中信子氏
(リサイクルアート作家)



自由に
作ろう!

香り豊かな入浴剤 エコ素材で「バスボム」を作ろう

「バスボム」とは、溶ける際に
シュワットという音を楽しむことが
できる入浴剤です♪(対象：一般)

- 開催日/11月30日(日)
- 募集/11月1日から
- 講師/深沢秀治氏(環境教育振興協会)

手作りを
楽しみ
ましょう!



天体写真と星空のお話

美しい星空と写真観賞…そして大気環境・光害・省エ
ネルギーのお話を聞きます。(対象：一般)

- 開催日/11月16日(日)
- 募集/10月21日から
- 講師/飯島裕氏(天体写真家)



*講師撮影「はやぶさの帰還」→

光と色のふしぎ探検

赤・青・緑のLEDで「光のジュース」を
作ります。(対象：小学生と保護者)

- 開催日/12月7日(日)
- 募集/11月11日から
- 講師/久保利加子氏(茨城県おもしろ理科先生講師)



*講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。
応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情
報活動センターのホームページに掲載します。

環境記者活躍中

聖蹟公園にて花壇の花植え替え



8月26日、聖蹟公園にて花壇の花植え替えを行いました。7～8月は太陽の光が強く、草花を植えても管理が大変です。植えても枯らすことが多く、気温が多少下がった頃合いを見計らって実施しました。今回はボランティアで武蔵大学、跡見学園女子大学、東京医療保健大学の学生さんがボランティアで参加してくれました。

植えた草花は、ニチニチ草、サルビア、メランポジュウム、ペンタスの4種類で、植える間隔や花の色など全体のバランスを考えながら行いました。花植えの開始前に草抜きをして、土を柔らかく起こしてから植え替えを開始。雑草の



量は45リットルのゴミ袋4袋分になりました。

草花一つひとつをプランタから取り出し、固まっている根を手で柔らかくもんで植えていきました。今にも雨が降り出しそうな空でしたが、降られることもなく、約2時間の作業で無事きれいに植えることができました。

今回は、学生ボランティアさんが参加。若いせい、腰が痛いという人がいなく、笑顔でポーズをとってくれました。



(環境記者 小野文義氏)

キノコは植物でしょうか？

生物を動物と植物の二つに分けていた時代があり、藻類やキノコは植物にまとめられていました。微生物が知られるようになって、栄養摂取の方法(光合成)や運動能力の点で、動物、植物ともつかないものが出てきました。動物界・植物界のほかに菌界が挙がり、その後原生生物(モネラ)界と原核生物界が加わりました。近年は分子遺伝学の発達で、界という分け方は使われなくなりつつあります。

30年前、自然系の研修会で、一本の木の周りを小さな白いキノコが、ぐるっと取り囲んでいる不思議な光景に出会いました。円は直径が2メートルくらいあり、ずらっと並んだ様子は名前の由来の通り「木の子」どもたちのようでした。キノコの役割や生態を学んだことで、キノコが生えた木は元気がなくなってきた証拠とか、また木の根の広がり具合を目にしました。キノコはカビと同じ菌類に分けられ、生態系の中で分解者として、再生を担う役割があります。

竹林の中にバレーボールのようなキノコ(オニフスベ)を見つけた時は、その大きさに驚きました。食べられると聞きましたが、その気になれませんでした。キノコの中には、いかにも毒々しい色のものがありますが、色では有毒と判断できません。真っ赤なタマゴタケがその例です。



タマゴタケ



オニフスベ

キノコ通の方に勧められ食しましたが、安全と分かっているにもかかわらず、味はわかりませんでした。

今年4月、近くの公園で伐採されたスタジイの根方に、小さな「ツチグリ」を見つけました。根を四方にたどっていくと、いくつかが出ていました。この場所で初めて見たのは2年前の2月で、雪が降った直後でした。

タンスをどかしたら、キノコが生えていたという話も聞きます。小笠原諸島では光るキノコ・ヤコウタケ(グリーンペペ)が有名ですが、ほかに2種見かけました。ガラパゴスでは馬糞のそばに生えるキノコを見ています。キノコは秋だけのものではなく、ある程度の湿度があれば、一年中、いろいろな場所で発生しています。



ツチグリ(上)とスタジイの切り株



ガラパゴスのキノコ

菌床栽培が盛んになってきて、キノコは毎日の食卓に上る食材になりました。近頃はキノコの区別や食べ方・歴史や文化などから出題される「きのこ検定」もあるようです。キノコは漢方薬としても知られています。

(環境カウンセラー 倉田智子氏)



ヨウメイタケ(小笠原父島)

夏休み子ども環境学習講座

環境をテーマとした勉強と実験、工作を楽しみました

生きもの博士になろう 7月19,24,26日

(環境情報活動センター、しながわ中央公園)

講師：NPO法人生態教育センター 村松亜希子氏、佐藤真人氏

①みる、きく、さわる…！ 五感で自然遊び

五感を使った自然観察やゲームを通して、自然のおもしろさと大切さを学び、公園で摘ませていただいたハーブ(ローズマリー)を使って石けんを作りました。



②遊んで発見！植物の魅力

公園の葉っぱを観察し、植物探しのビンゴゲームを行いました。植物について楽しく学ぶとともに、葉っぱのスタンプでエコバック作りをしました。



③生きものに挑戦！

アリは、食べ物を巣に運ぶときなどは、ニオイをもとに移動します。アリのようにニオイをもとに目的地に移動するゲームを行いました。葉っぱや小枝を使って昆虫カードを作りました。



気象予報士から学ぶ気象と環境

8月1,2,3日(環境情報活動センター)

講師：NPO法人気象キャスターネットワーク 気象予報士のみなさん

①暑すぎる！東京のふしぎ発見

ヒートアイランド現象で、東京は他の地域よりも気温上昇が大きくなっています。放射温度計を使って、いろいろなものの表面温度を測りました。熱中症対策や紫外線対策についても、実験を通して学びました。最後に風鈴を作りました。



②突然の大雨に気をつけよう

雲はどのようにしてできるのでしょうか？実験で雲を作ってみました。大雨やカミナリの時に注意することを学びました。また、綿で雲の図鑑を作りました。



③地球温暖化って何だろう？

世界各地で異常気象が報告されていますが、地球温暖化と関係がありそうで、二酸化炭素が原因とのことです。実験で確かめました。最後に雲画像地球儀を作りました。



講座内容の詳細は、環境情報活動センターのホームページ http://shinagawa-eco.jp/mt_kouza/ でご覧いただけます。

わが家の緑のカーテン

4月27日に開催した講座「今年こそ緑のカーテンを作しましょう」では、講座の前半に育成環境、適温、用土、肥料等の解説を、後半は種を蒔くところまでの実習で、実際の緑のカーテン作りは各家庭で行っていただくという講座でした。

講座を受講された五十嵐様から、緑のカーテンの写真とともに、出来栄をお知らせ頂きました。



「楽しみにしていたゴーヤは、発芽に失敗してしまいました。発芽したのはアサガオ2苗と大びょうたん1苗です。大びょうたんは、今2階のベランダまで伸びて大暴れです。

大びょうたんの葉

8月16日現在、成り花が3個ついています。落果しないか心配しながら楽しんでいきます。」



こんな講座を開催しました（平成26年4～8月）

●今年こそ緑のカーテンを作しましょう

（一般／4月27日）→ 前掲 Page 3

●いろいろな色が見えてくる!?

エコで不思議な独楽(こま)作り

（小学生と保護者／5月18日）

端材を利用して、こまを作りました。こまの上に乗せた紙の模様によって不思議な色に見えたり、見え方に違いがありました。



●小笠原諸島の自然

（一般／6月8日）

小笠原諸島を昨年訪問された講師から、自然の美しさや島での体験をお話していただきました。

また、小笠原諸島が「東洋のガラパゴス」と称されることから、4年前に訪れたガラパゴス諸島のお話も聞きました。



●間伐材を使って楽しい工作をしよう

（小学生と保護者／6月15日）

森とそこに棲む動物の大切なつながりや、森を守るために間伐が必要だということもわかりました。間伐材をノコギリで切ったり、家具作りの過程でできた端材を使って積木作りをしました。



●LED照明で快適生活

～LEDを光らせてみよう（一般／6月29日）

LEDの仕組みを学んだ後、白熱電球とLED電球の違いを体験し、さらに、電池とLEDをつなぐ簡単な配線をして光るディスプレイを作りました。



●新エネルギーと風力発電機作り

（小学生と保護者／7月6日）

再生可能エネルギーを使った発電についての話を聞いた後、手回し発電機を使って、風車を回す実験やミニカーを走らせる実験を行いました。最後にペットボトルを利用して、風力発電機を作りました。



●コラージュで飾る

保温・保冷マグカップ作り

（一般／7月13日）

アートのお話（コラージュはリサイクル?）、デザインのお話（制作のヒント）の後、各自が愛着を持って使える「コラージュマグ」作りに挑戦しました。自分で持ち込んだマグやタンブラーにコーヒーを入れてくれるお店は結構あります・・・省資源にも



●お水の教室～公園でろ過実験をしてみよう

（小学生と保護者／7月27日）

飲める水の貴重さのお話の後、公園でろ過実験をしました。逆さにしたペットボトルに脱脂綿、小石、砂利、砂、落ち葉などで地層を作りました。汚れた水がきれいになって出てきました。



●バナナのDNA抽出実験で

生きものの保護について学ぼう

（小学生と保護者／8月10日）

バナナのDNA（遺伝子）を抽出する作業を通して、生きものの仕組みや不思議、自然や生命の大切さを感じてもらうことができました。



●夏休みの自由研究にチャレンジしよう

（小学生と保護者／8月12日）

低中高学年向けの資料説明があり、その中からいくつかの実験を行いました。自由研究の参考になったと思います。

●ガス管を使ったりリサイクル万華鏡作り

（小学生と保護者／8月20日）

都市ガスについて勉強した後、ガス管万華鏡作りをしました。ガス管はポリエチレン製で、100%リサイクルされているとは驚き！



《体験型環境学習講座》

環境に配慮したビルの見学と学研教材で環境学習

（小学生と保護者／7月24日）

学研ビルの中を見学しながら、環境に配慮された設備等についてのお話を聞きました。後半は学研教材を使っての工作で、ソーラー電池でプロペラを回しました。



講座内容の詳細は、環境情報活動センターのホームページ http://shinagawa-eco.jp/mt_kouza/ でご覧いただけます。

しながわECOだより 2014年度Vol.2

発行：品川区都市環境事業部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：平成26年9月25日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は、古紙を配合した用紙で作成しています。

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2014年度 Vol.3



環境学習講座のご案内

1月～3月の
大人&子ども向け
講座予定



お茶のおいしい入れ方を学びましょう

お茶メーカーの環境に配慮した取組み（茶殻リサイクルシステム、アルミレス紙容器）について紹介します。

お茶のおいしい入れ方を
実演し、参加者にも実際
に行っていただきます。



（対象：一般）

- 開催日／2月21日（土）
- 募集／1月21日から
- 講師／千田康之氏

（株式会社伊藤園 品川支店長）

やっぱり
日本茶♪



LEDを使って小さな行灯を作ろう

LED照明とはどのようなものか？基本や使用場所、用途別の選び方について学び、自在に持ち運びできるコンパクトな行灯を制作します。

（対象：一般）

- 開催日／2月22日（日）
- 募集／1月21日から
- 講師／立川敦子氏（照明コンサルタント）



海博士になろう！

(1) 砂浜の探検

海と陸が出会う場所には不思議がいっぱい。砂浜をじっくり観察するとなにが見えるかな？砂の標本を作りましょう。



(2) りんごと海

りんごを地球儀に見立てて切っていくと見えてくるものは？大切な資源に注目しながらミニ地球儀を作ります。



(3) 海流

海の波や流れはどうやって起こるのか実験で見よう！「秘密の道具」を使っておうちでも実験しましょう。



（対象：小学生）

- 開催日／3月15日(日)、21日(祝)、22日(日)
- 募集／2月11日から（1人1講座）
- 講師／佐藤宏氏ほか

（社）日本環境教育フォーラム



風力発電機をつくろう！

電気の作られ方やその働き、風力発電について学んだあと、ペットボトル、牛乳パックを使って風力発電機を作ります。（対象：小学生）



電気の工作に
チャレンジ!!



- 開催日／3月1日（日）
- 募集／2月1日から
- 講師／安永隆志氏

（蔵前理科教室ふしぎ不思議副代表）

* 講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページにて募集開始日から掲載します。ご応募お待ちしております。

お天気教室

NPO法人エコタウンしながわ 平成26年開催講座

★「おてんきとくもとあめのおはなし」(二葉保育園)
昨日きれいに見えた富士山が、今日は雲に隠れて見えません。飛行機に乗って雲の上から富士山を見ました。きれいな青空で、白い雲が下に見えました。



講師：「雲に乗れるかな？」
園児のみなさん：「乗れない！」

★「天気の不しぎと気象実験」
(浜川小学校／浜川科学教室)
(山中小学校／山中おやこエコクラブ)
(会場：旗の台文化センター
／地域のお母さんと幼稚園児)



天気にかかわる楽しい問題に取り組み、気圧変化で起こる様々な現象、簡単に雲が作れる実験、更に防災の話などに、皆さん真剣に耳を傾け、実験に取り組んでいました。



★お話(天気の不思議と異常気象)とコンサート
(会場：荏原第五中学校アリーナ／荏原地区の方々)

NPO法人エコタウンしながわ では、出前講座「お天気教室」のご希望をお受けしています。

対象：品川区内幼稚園・保育園、小学校、中学校、各地域グループ・町会
時期：平成27年4月～3月(確定順に4講座)
講師：気象予報士 費用：無料
ご連絡先：環境情報活動センター内
NPO法人エコタウンしながわ
TEL・FAX: 03(5742)6533
E-mail: center@shinagawa-eco.jp

松－格調の高い植物

門松を飾って、お正月を迎える習わしは、現代でも続いています。長寿や繁栄の象徴として、尊ばれるためでしょう。

江戸時代、街道筋には松並木が続いていました。四方を海に囲まれた日本では、海岸線が続く風景に松は欠かせません。



品川宿の松 と しながわ区民公園の松

マツには、防風林・防砂林・防潮林という役目がありました。東海道の品川宿にも配置されています。これらはクロマツです。

日本にはアカマツ・クロマツ・リュウキュウマツ・ゴヨウマツ・ハイマツ・チョウセンゴヨウ・ヤクダネゴヨウ(屋久島・種子島の意)の7種類のマツが自生します。

松葉を交差させて引っ張り合う「松葉すもう」という遊びがありますが、葉が5本のマツもあります。二本の葉はアカマツ・クロマツ・リュウキュウマツで、ほかの4種は5葉です。

リュウキュウマツ(小笠原父島) 名前を通りクロマツの幹は黒く、雄々しい感じがします。アカマツは幹が赤く、葉も細くきゃしゃです。この2種には雄松、雌松と対比させた呼び名もあります。幹の色による呼び名では黒、赤のほか白もあります。しかしシロマツ(ハクシヨウ)は日本のもので



上からクロマツ、アカマツ、ゴヨウマツの葉

はなく、中国原産です。上部の葉や枝ぶりは確かにマツですが、幹はただら模様剥げ落ち、まったく別の木のように見えます。



シロマツ
(小石川植物園)→

左の写真は4月末のクロマツです。棒状の新芽のてっぺんには雌花があり、これがマツカサになります。下部には昨年の球果(マツカサ)があり、このあたりに雄花が出ます。

(今年の雄花は落ちてしまい、写っていません)花粉は風で運ばれるので、雄花と雌花の付く位置は離れています。

マツカサは実るまで、2年かかります。マツカサには一片毎に2個の種子があり、種子には薄い羽根がついています。空気が乾燥しているときにマツカサは開き、風を利用して種子をあちこちに飛ばします。雨の日には羽根が濡れてしまうので、マツカサは開きません。



11月末
来年伸びる新芽

冬にはマツの幹に「菰(こも・稲わらで作る)」が巻かれていることがあります。これは寒さ除けではなく、昔は、越冬する虫を引き寄せ、薬剤を使わないで行う害虫駆除でした。しかし益虫をも駆除してしまうという調査結果が出ました。近年はどんな虫が越冬したか、調べる観察会が開かれています。身の周りに虫を見かけなくなった昨今では、見逃せない催しです。(環境カウンセラー 倉田智子氏)

環境記者活躍中

常緑キリンソウによる屋上緑化



6年前、品川区の助成を受けて屋上緑化を実現しました。6年前に植えた常緑キリンソウの株の根元から、今年もたくさん新芽を出しました。



刈り取る前

刈り取った常緑キリンソウは、熟成土壌と一緒に、「株の座布団」に入れますので、ゴミは全く出ません。完全な自己完結型再生のサイクルを実現しています。葉が大気中から水分を吸収し、6年前から水撒きは一度もしていません。真冬でも、今年の酷暑の中も、緑の葉をつけて、株は枯れません。6年間、自然に降る雨だけで育っているのです。驚くやら、勇気づけられるやら……

刈り取った常緑キリンソウは、熟成土壌と一緒に、「株の座布団」に入れますので、ゴミは全く出ません。完全な自己完結型再生のサイクルを実現しています。葉が大気中から水分を吸収し、6

緑化効果は、室温を約2℃低下させます。真夏でも葉の裏側の影は冷たく感じ、よく猫が葉の裏側で休んでいました。今は屋上出入口に戸を付けていますので、猫は侵入しませんが。

今年の暮れから春にかけて、再び一面が緑の絨毯となります。これまでに鳥取県知事はじめ、大勢の方々が見学を訪れています。



作業中



熟成土壌投入作業後

(環境記者 志賀 勝氏)

区民環境記者募集中

環境情報活動センターでは、現在「区民環境記者」を募集しています。

花の開花情報、地域の環境イベント情報など、身近な環境情報をメールなどでお寄せくださる方を、区民環境記者として登録します。いただいた記事や写真は、環境情報活動センターのホームページなどに掲載します。

区内在住、在勤、在学で環境に興味のある方のご応募をお待ちしています。

詳細は環境情報活動センターまで



E-mail : center@shinagawa-eco.jp

TEL : 03-5742-6533

「もったいない……」の気持ちを大切に

お買い得品や掘り出し物をいろいろと揃えています

「リボン」では、みなさまのご来店をお待ちしています。詳細はそれぞれのお店にお問い合わせください。



旗の台店 03-5498-7803

「ものを大切に使おう」をテーマに

洋服、バッグ、雑貨や家具など、ご家庭にある品物の買い取りや委託販売をしています。

「捨てるのはもったいない」、「ご縁があれば他の方に使っていただきたい」、そんな品物がありましたら「リボン」をご利用ください。



リサイクルショップ「リボン」をご存知ですか？

「リボン」はNPO法人エコタウンしながわが品川区の協力を得て運営しているリサイクルショップで、旗の台店と大井町店があります。



大井町店 03-5742-6933

区役所第三庁舎の外壁工事などのため、お客様にはご不便をおかけしています。通常通り営業を行っていますので、ご来店をお待ちしています。

こんな講座を開催しました (平成26年9~11月)

●さき布から「ぞうり」を作ろう

(一般/9月21、23日)

受講者にお持ちいただいた古布を使ってぞうりを作りました。講師オリジナルの作業台を使った2日にわたっての講座でした。



【受講者の声】下準備が大変ですが、完成した時の喜びは大きい。世界に一つだけの草履に大満足です。2足目はもっと上手に作りたい。皆さまとの楽しい講座でした。先生ありがとうございました。

●住まいのLED照明活用方法と光の色変化を体験しましょう (一般/9月28日)

LEDの基本と各家庭での器具ランプの選び方について学びました。赤青緑の3色のLEDを用いて光の色が変化する原理を学び、全員が「白いLEDの光」を作りました。工作では童心に帰って楽しんでいただけたようでした。



【受講者の声】分かりやすく良かった。工作が大変良かった。

●風力で電気を起こそう!

(小学生/10月5日)

環境にやさしい風力発電のしくみ、風と発電機について学べる教材を2種類組み立てるといった盛りだくさんの内容でした。科学者やエンジニアへの第一歩になったかな?



【受講者の声】キットを買ってもなかなか親子で作れないので、今日は一緒に作れて良かったです。お話だけでなく、実験キットを使って勉強することができたので楽しく理解することができました。

●都会の身近な鳥たちの暮らし～増える鳥・減る鳥 (一般/10月26日)

カラス、スズメは増えてる? 減ってる? 都市に生息する野鳥の生態とその最新事情についてお話いただきました。



【受講者の声】身近な鳥にどんどん変化が起きている事、人が影響している事など、面白かったです。私ももっとよく観察してみたいと思いました。

●再生可能エネルギーの現状と今後の見通し

(一般/10月31日)

今世界で起きている地球温暖化現象などが紹介され、食料や健康へのリスクについてお話いただきました。さらに温室効果ガス削減のために再生可能エネルギーの果たす役割と導入促進に向けて、日本の現状を中心に各国の取組みについてお話いただきました。



【受講者の声】再生可能エネルギーの積極的な導入と技術開発が日本の国としてできていないことがわかった。

●空箱でつくるジオラマカレンダー

(小学生/11月2日)

捨てられてしまいそうだった物を「素材」として使い、立体的なジオラマを作ってみるというユニークなアート講座でした。要らなくなった小さなおもちゃ、端切れ、リボン、クッション材など、箱の中に自分の世界を自由に表現して、それを壁掛けカレンダーに仕上げるというのがテーマでした。



【受講者の声】いろいろな物などで、こんなに上手な作品が作れるとは思っていませんでした。

●頭のいい江戸のエコ生活

(一般/11月9日)

江戸の一日は「明け六つの鐘」で始まります。魚介類、野菜は毎日、行商人から必要な分だけ買うことができるため、食材の余りはないのです。かまどの灰も、行商人が肥料用に回収にきます。徹底したエコ生活です。



【受講者の声】とても楽しく江戸時代の事を学べた。田舎から出てきたがこれを学んだことで東京人になって来たかな? と思った。

●天体写真と星空のお話

(一般/11月16日)

「はやぶさ」が帰還したときの撮影や天の川、天文台、望遠鏡、月、星空、彗星、流星群、光害(ヒカリガ)などについて豊富な写真とお話を伺いました。また光害については不要な光をできるだけ抑え、よりよい光環境を創りだしていくよう取り組む必要があります。



月の大きさ比較 (遠いとき、近づいたとき)

【受講者の声】天文の不思議さと宇宙のリズムが良く理解できた。もっと星のこと、宇宙のことを知りたいと思った。

*【受講者の声】はアンケートより抜粋しました。

講座内容の詳細は、環境情報活動センターのホームページ http://shinagawa-eco.jp/mt_kouza/ でご覧いただけます。

しながわECOだより 2014年度Vol.3

発行：品川区都市環境事業部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：平成26年12月16日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は、古紙を配合した用紙で作成しています。

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2014年度 Vol.4



今後の環境学習講座のご案内

新年度も豊富な内容で開催予定!

大人向け 緑のカーテンを作しましょう

ゴーヤなどの種を蒔くところまで行い、育てるコツを学びます。

開催日/4月19日(日)

募集/3月21日から

講師/丸山均氏



親子 間伐材を使って楽しい工作をしよう

講師/小松郁夫氏

(東洋製罐(株)環境・品質保証本部環境部課長)

のこぎりを使って木(間伐材)を切る作業や、積み木の積み立てを競うゲームをします。積み木はお持ち帰り頂きます。

(対象:3年生以下の小学生と保護者)

開催日/5月17日(日)

募集/4月11日から



大人向け アートで素敵なエコバッグ作り

(しながわ区民公園管理事務所長)

アートに関するお話の後、デザインを考え、牛乳パックを型にして麻のバッグにシンプルなステンシルをします。

開催日/6月7日(日) *13時半~



小学生 LEDとふしぎなシートで光の実験と工作をしよう

講師/佐々木重孝氏

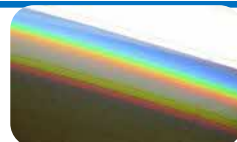
(株)樹楽製作所代表取締役社長)

不思議なシートを使って虹の模様を見たり(右写真)、黒い壁を鉛筆が突き抜けるように見える不思議な筒を作ります。

(対象:小学生*3年生以下は保護者同伴)

開催日/6月21日(日)

募集/5月21日から



大人向け 風鈴と団扇づくり

募集/5月11日から

講師/大野有紀子氏(エコアート作家)

夏の風物詩を作ります。食器のリサイクルで作った風鈴で涼しさを感じ、自分でデザインしたマイ団扇で涼をとりましょう。

開催日/7月5日(日) 募集/6月1日から



大人向け リサイクルが進む容器包装

講師/深澤秀治氏(環境教育振興協会理事)

容器のリサイクルがどの様に行われているか... '目からウロコ'です。缶、PETボトルなどの身近な容器についてご紹介します。

開催日/7月12日(日) 募集/6月11日から

大人向け 春の寄せ植え

植物の魅力、特徴、育成について解説し、実際に寄せ植えをします。

開催日/5月26日(火)

13時半~15時半

募集/4月21日から

講師/伊藤金美氏・角方悦子氏(秋草会会員)



* 大人向け 講座は中学生以上から参加できます。

講座の名称、開催日(時間:エコバッグ、園芸講座以外は14:00~16:00)、内容などはいずれも予定です。

応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページに掲載します。

しながわ環境大賞授賞式・みどりの顕彰式

平成27年2月21日(土) スクエア荏原 1階ひらつかホール

しながわ環境大賞は、今年度で9回目を迎え、区内で環境保全に関する優れた活動をされている団体を顕彰し、その活動を広く区民の皆様を紹介することを目的としたもので、今年度は3団体が環境大賞、6団体が環境賞に選ばれました。

「みどりの顕彰制度」は、平成10年度からスタートし、今年度で16回目を迎えます。地域の環境や景観の向上に資するような、優れた緑化を行なった方々を顕彰し、区民の緑化に対する意識の向上を図るために設けられた制度で、今年度は緑化大賞2件、緑化賞4件が選ばれました。



環境大賞



緑化大賞

しながわ環境大賞受賞団体の活動をご紹介します

●「みどりと花のボランティア『あとり彗彩』」(あとり彗彩)



平成16年より地域の公園を清掃し花壇に花を植え、街並みを美化することで地域にうるおいとやすらぎを提供されています。



●「親子清掃」(大崎居木橋町会)



昭和64年から「親子清掃」として、夏休みにゴミ拾いを実施し、ゴミのポイ捨てをなくす取り組みを行ってられます。



●「身近な自然とのふれあい、地域の美化と食育を通したESD ~楽しく、美味しく、自然と親しむ~」(品川区立山中小学校・山中小おやこエコクラブ)



平成21年から、年間を通したガーデン整備とイベントを実施し、親子で地球環境を守る大切さを

学んでいく取り組みを行ってられます。



環境賞

沖ウィンテック株式会社「節電への取り組み 地球温暖化防止に関する活動」、かしわのみどり会・富士見長寿会「みどりと花のボランティア」、品川区立中延小学校「ふれあい菜園活動(地域の方との屋上菜園および学級園活動)」、品川区立滝王子児童センター「緑も心も育てる『おいしい緑の大作戦』」、品川区立東品川保育園「今年も地域の方とともに『Let's Go! 打ち水大作戦』」、品川区立中原保育園「環境教育集会」

緑化大賞受賞団体の活動をご紹介します

●「新目黒東急ビル」

緑量も樹種も豊富で、屋上部に机などを設置するなど、緑に囲まれて仕事ができる開放的な空間と質の高い緑を創造しているなどの工夫がなされています。



事業者 東急不動産株式会社
 設計者 清水建設株式会社
 フィールドコーディネーター 株式会社東急コミュニティ
 管理者 東光園緑化株式会社



●「新阪急大井ビル」

建物の壁面や柱に、多種多様な樹種の緑化パネルを組み合わせた、ボリューム感のある壁面緑化を行っていることなど、建物全体が緑に覆われたように見える工夫などがなされています。

事業者 株式会社大井開発
 設計者 株式会社大林組
 株式会社日建設計
 管理者 株式会社アパリアティ



緑化賞

ザ・パークハウス大森、プランシエラ品川勝島フレッシュ
 プリリア大井町ラヴィアンタワー、井畑譲治邸

大井町自然再生観察園便り

1月下旬の大井町自然再生観察園では、まだ冬の寒さが残っていましたが、ふきのとうの芽が出て、春の訪れを感じられました。



また、梅の花が咲き始め、こぶしのつぼみが大きくなるなど、春に向けて植物たちの準備の様子もうかがえました。

芽を出した“ふきのとう”

4月には川沿いにシャガの花や紫色のオオアラセイトウ、白やピンクのハナミズキが咲き、青々としたフキの様子も見られます。開園は毎週木曜日 13時～16時30分です。今年も5～6月にホタルの夕べの開催を予定しております。お近くにお越しの際には、是非お立ち寄りください。



大井町自然再生観察園の様子(H26年4月)

小野学園女子中学・高等学校 小澤良水先生

春の花リレー～梅・桃・桜

厳しい寒さの中、薫り高く咲く「梅」、雛の節句の「桃」、そして春の代表「桜」、どれもバラ科です。いずれも園芸種として多くの品種が作出され、また果実を得られるのも共通します。バラ科のくだものにはほかにもリンゴ、ビワ、ナシ、アンズがあり、またイチゴも仲間です。



ウメ

モモ

サクラ

梅を詠んだ数ある詩歌のうち「梅一輪 一輪ほどの あたたかさ」は、寒さが和らいでいくようすを感じとることができる句です。

写真の桃の花は、食べた後に種をまいたところ、5年ほどで花をつけるようになったものです。花の時期はソメイヨシノより一週間ほど早いのですが、雛祭りには到底間に合いません。そこで花にあわせて雛を飾ることにしました。気象庁による「生物季節観測」を実践しています。

桜の代表はなんといってもソメイヨシノです。オオシマザクラとエドヒガンの交雑種という説がありますが、確定していません。「Prunus yedoensis」の名の通り、江戸・染井村（花卉植木の生産地・現在豊島区駒込）が発祥地のため、豊島区の花、また東京都の花でもあります。全国的に植栽されているため、生育範囲が広く「桜前線」が成り立ちます。ただし沖縄奄美地方はカンヒザクラ、北海道の一部はエゾヤマザクラまたはチシマザクラの開花です。

サクラの開花は積算温度の法則によるといわれますが、それにサクラの生活サイクルがかかわってきます。夏に花芽の“もと”ができ、秋には葉芽とともに休眠します。

花芽は寒さにさらされて休眠が解かれ、気温の上昇とともに成長します。最近、開花が遅れたり、花が咲かない現象が報告されています。このようなことは温暖な地方では従来からあったようですが、これは地球温暖化に関わるといわれています。



花芽ふっくら 葉の芽はスリム (2月中旬) ↑

品川区の桜の名所は

<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000021700/hpg000021607.htm> にあります。

また森林総合研究所多摩森林科学園のサクラ保存林は各地のサクラの遺伝子を保存するために設けられました。



西五反田 かむろ坂通り



多摩森林科学園

東京都で一番早く咲くサクラは、小笠原諸島のカンヒザクラです。それとは別にサクラと名が付く植物があります。秋咲きの「シマザクラ」でサクラとは異なる、アカネ科の低木です。明治時代初期の入植者はこの花を見つけた時、桜を連想し、それで名付けられたと想像しています。



シマザクラ (小笠原父島)

環境カウンセラー
倉田智子氏

平成26年度はこんな講座を開催しました

環境情報活動センターでは、「環境」をテーマとした楽しい講座を30日以上開催しています。

一般		小学生	
開催月	テーマ	開催月	テーマ
4	今年こそ緑のカーテンを作りましょう	5	いろいろな色が見えてくる！？～エコで不思議なこま作り
5	<園芸講座>春の寄せ植え	6	間伐材を使って楽しい工作をしよう
6	小笠原諸島の自然	7	新エネルギーと風力発電機作り
6	LED照明で快適生活 ～LEDを光らせてみよう	7	[体験型環境学習講座] 環境に配慮したビルの見学と学研教材で環境学習
7	コラージュで飾る保温・保冷マグカップ作り	7	お水の教室～公園でろ過実験をしてみよう！
9	さき布から「ぞうり」を作ろう①②	7	生きもの博士になろう！①②③
9	住まいのLED照明活用方法と光の色変化の体験	8	気象予報士から学ぶ気象と環境①②③
10	都会の身近な鳥たちの暮らし～増える鳥・減る鳥	8	バナナのDNA抽出実験で生きものの保護について学ぼう
10	再生可能エネルギーの現状と今後の見通し	8	夏休みの自由研究にチャレンジしよう
11	頭のいい江戸のエコ生活	8	ガス管を使ったりリサイクル万華鏡作り
11	天体写真と星空のお話	10	風の力で電気を起こそう！
11	エコ素材で作る香り豊かな入浴剤「バスボム」	11	空箱でつくるジオラマカレンダー
12	<園芸講座>お正月の寄せ植え	12	LEDで光のジュースを作ってあそぼう！
2	お茶のおいしい入れ方を学びましょう	3	風力発電機を作ろう！
2	LEDを使って小さな行灯（あんどん）を作りましょう	3	海博士になろう①②③（3月10日現在予定）

●お茶のおいしい入れ方を学びましょう (一般/2月21日)

茶殻リサイクルシステム、アルミレス紙容器などの紹介と、お茶のおいしい入れ方の実演があり、参加者にも実際に行っていただきました。



【受講者の声】企業の環境保全に対する取組み方がわかりました。毎日飲んでいるお茶が温度や量でこんなにおいしく頂けるなんておどろきです。

●LEDを使って小さな行灯（あんどん）を作りましょう (一般/2月22日)

LEDについての基本と使用場所（用途）別のLED電球の選び方を学び、LEDを使ってかわいい行灯を作りました。



【受講者の声】LED電球の選び方がわかって良かった。お店で買う時、サイズ・形しか考えていませんでしたが、いろいろなLEDがあるという事がわかりました。講演を聞くだけでなく、作業に参加出来た事が良かった。

品川区環境情報活動センターはこちらです



HPのアクセスはこちらから↓



しながわECOだより2014年度Vol. 4

発行：品川区都市環境事業部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：平成27年3月13日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています